

091214

# 鳩山首相に「規制緩和」と「生活支援サービスの創出」を提言

12月12日 鳩山由紀夫首相が「全国ボランティアナースの会 キャンナス」の松戸支部を視察しました。同会の菅原由美代表・安西順子松戸支部代表とともに私も首相にレクチャーを行いました。

**首相「寄付税制変更も」**  
鳩山由紀夫首相は12日、「寄付税制を交えることも大事かなと思う。税金を国に納めるくらいなら、その一部をボランティアで頑張っている人たちのために使うことをやってみよう」と述べ、公益事業を担う団体への寄付に関する優遇税制を検討する考えを示した。千葉県松戸市で福祉関連の団体を視察後、都内で記者団に語った。

**「日朝対話に前向き」**  
岡田克也外相は12日、外務省内で米国のボズワース北朝鮮担当特別代表と会談し、北朝鮮情勢を巡って協議した。8月10日に平壤を訪問して北朝鮮高官と会談したボズワース氏は北朝鮮による日本人拉致問題について米側から提起したと説明。拉致問題を念頭に日朝間の対話に北朝鮮も前向きな姿勢を示したと語った。

**補助事業 自治体を尊重**  
前原誠司国土交通相は12日、香川県小豆島町で国の補助を受けて県が整備を進める内海ダムの建設予定地を視察した。視察後の坂下一朗小豆島町長との会談で、前原氏は「補助事業は基本的に（実施主体の）県が決めることだ」と指摘し

**小沢氏「世襲考えず」**  
韓国を訪問している民主党の小沢一郎幹事長は12日、ソウルの国民大学での講演で「私の選挙区で出れば間違いないと当選できるが、子どもに仕事を継がせることは全く考えていない」と述べ、自身の政界引退後の世襲について明確に否定した。

**松田氏、自民から不出馬**  
自民党の松田若夫参院議員は12日、岐阜市内で記者会見し、自民党岐阜県連による来夏の参院選の候補者公募に応募しない考えを明らかにした。

**首相官邸**  
12日  
午前中は公邸で過ごす。  
▽12時25分 仲池上の「上島熱処理事務所」を視察。  
▽14時28分 千葉県松戸市の「全国ボランティアナースの会 キャンナス松戸支部」を視察。  
▽18時 浅草橋の福祉施設「アフラック ペアレンツハウス」を視察。  
▽17時9分 立石の立石仲見世商店街を視察。続いて居酒屋もつ焼子ち多で仙台府政制新相、松井官房副官、中山補佐官、▽18時59分 北青山の会員制クラブ「ウラク青山」で友人ら、▽22時3分 公邸着。



(日本経済新聞/2009年12月13日)  
**「看護師に1人開業権を認める」**などの規制緩和の必要性や 介護や医療が「保険」事業だけにこだわらず **「生活支援サービス事業」**という新たな視点で 国民のニーズに応えることができれば 雇用だけでなく社会的な富を増大させる 新たなマーケットを生み出す産業に変革できることを 説明しました。  
 首相も理解を示し 前向きな検討を約束しました。  
 寄附金税制の変更は そのときの話し合いの中で 首相が提示したアイデアでした。

1月7日(木) (14:00~16:30) に開催する「いま介護基盤緊急整備特別対策をフル活用する -自治体も知らない整備資金獲得の裏ワザ」セミナーでも 官邸や政府の目指すところをお話するとともに自治体の理不尽なローカルルールを乗り越えて 民間事業者が 政府の 3,000億円の経済対策を有効に活用し 顧客本位のサービスを提供するためのノウハウをお示しする予定です。  
 18名という少人数セミナーですのでお早めのお申込をお待ちしています。

